

寄贈図書リスト

先生、物理っておもしろいんですか？ パリティ編集委員会編，274頁，四六判，1,600円＋税，丸善出版
完全独習現代の宇宙物理学，福江純，362頁，A5判，4,200円＋税，講談社

太陽系外惑星，田村元秀，304頁，A5判，3,200円＋税，日本評論社
銀河考古学，千葉柁司，264頁，A5判，3,000円＋税，日本評論社
星が「死ぬ」とはどういうことか，田中雅臣，206頁，四六判，1,500円＋税，ベレ出版

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお，原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく，以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など），2. (1) 所属部門・所属講座，(2) 勤務地，3. 専門分野，4. 職務内容・担当科目，5. (1) 着任時期，(2) 任期，6. 応募資格，7. 提出書類，8. 応募締切・受付期間，9. (1) 提出先，(2) 問合せ先，10. 応募上の注意，11. その他（待遇など）

e-mail: tof@astr.tohoku.ac.jp

10. 応募書類は封筒に「親展」と朱書し，簡易書留で送付のこと。

（応募書類はお返しいたしません。提出されたすべての個人情報，は，選考の目的に限って利用し，選考終了後は，責任をもって破棄いたします。）

11. 給与は本学規程による。

東北大学は男女共同参画を推進しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyjo/>

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教授

1. 教授 1名
2. (1) 東北大学大学院理学研究科天文学専攻
(2) 東北大学大学院理学研究科（仙台市青葉区）
3. 天文学
4. 東北大学における天文学の研究，教育，運営
5. (1) 平成28年4月1日あるいはこれ以降のできるだけ早い時期
(2) なし
6. 大学院博士課程修了または同等以上
7. 履歴書，研究歴，業績リスト，主要論文別刷またはコピー（5編以内），研究計画書，本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 平成27年9月21日（月）（必着）
9. (1), (2)

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
東北大学大学院理学研究科
天文学専攻長 二間瀬敏史
Tel: 022-795-6504 Fax: 022-795-6513

岩手大学理工学部教員（女性限定公募）

1. 教授または准教授 1名
2. (1) 物理・材料理工学科数理・物理コース（学士課程）（仮称）
（理工学部物理・材料理工学科 数理・物理コースは，平成28年度の全学改組により設置予定の学科です。当該学部改組における文部科学省の認可結果等が当該公募の採用条件等に影響することはありません。）
工学研究科 フロンティア材料機能工学専攻（博士前期課程）
（工学研究科は平成29年度に改組予定です。）
工学研究科 フロンティア物質機能工学専攻（博士後期課程）
(2) 盛岡市
3. 物理科学分野（物性物理学分野，原子核・素粒子物理学分野および宇宙物理学分野）
4. (学部)：基礎ゼミナール等の教養科目，ベクトル解析等の専門基礎科目，量子物理学，物理数学演

習および物理・材料理工学実験等の専門科目。

(大学院): 物理学特論

5. (1) 平成28年4月1日
(2) なし
6. (1) 女性に限る(男女雇用均等法第8条に該当。岩手大学における女性教員の割合が相当程度低いことを積極的に改善するための措置として、女性に限定した採用を行うものです。)
(2) 博士の学位を有する者
(3) 国籍は問わないが、日本語で教育と大学運営に対応できる者
(4) 地方大学の現状を理解して教育・研究および大学運営に対応できる者
7. (1) 履歴書(写真貼付, 所属学会, e-mailアドレス記載), (2) 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議論文, 講演発表論文, 特許, 報告などに分類して記載), (3) 主要な学術論文別刷(5編以内, コピー可), (4) 研究業績の概要(A4用紙2枚程度), (5) 着任後の教育と研究に対する抱負(A4用紙2枚程度), (6) 科学研究費等外部資金取得と受賞歴状況の一覧, (7) 応募者について問い合わせ可能な方2名の氏名, 所属, 連絡先
8. 平成27年9月30日(水) 必着
9. (1) 〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5
国立大学法人岩手大学工学部
マテリアル工学科 松川倫明
(2) 同上。Tel. 019-621-6358(直通),
e-mail: matsukawa@iwate-u.ac.jp
10. 封筒の表に「物理・材料理工学科数理・物理コース 女性教員応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で送付してください。なお, ご提出いただいた書類は返却いたしませんので, あらかじめご了承ください。
11. 選考: 書類審査及び面接(旅費は自己負担)
岩手大学は男女共同参画を推進しています。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら(www.iwate-u.ac.jp/gender/)をご覧ください。また, 女性研究者の採用・定着促進のためのスタートアップ経費の支援を受けることができます。

名古屋大学大学院多元数理科学研究科教員

1. 助教1名
2. (1) 名古屋大学多元数理科学研究科/素粒子宇宙起源研究機構・基礎理論研究センター弦理

論・数理構造部門

- (2) 名古屋市千種区不老町 名古屋大学
3. 数学・数理科学
4. 多元数理科学研究科協力教員として学部および大学院の教育
5. (1) 採用決定後できるだけ早く
(2) 5年(本学テニユアトラック制規定に基づき4年経過後にテニユア付与審査を受けることができます。)
6. 博士学位取得(および取得見込み)
7. (1) 必要事項をすべて記入した応募用紙(応募用紙はPDF形式でhttp://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/job/2015/download/applguide2015-1_ja.pdfから入手可能です。)
(2) 履歴書(下記の項目は必ず記入すること)
 - ・氏名および英文による氏名
 - ・生年月日
 - ・現在の所属および身分(期限付きの職にある場合には, その期限)
 - ・学位および取得年月(取得見込みの場合は取得予定年月)
 - ・高等学校卒業時からの空白のない履歴
 - ・研究目的の海外渡航記録
 - ・速やかに連絡が取れる連絡先(住所・電話番号・電子メールアドレス)
- (3) 研究業績リスト(論文, 著書, 主要な招待講演など)
- (4) 主要論文解説
- (5) 研究計画書(今後数年間に行いたい研究の内容, およびその意義・背景等)
- (6) 主要論文およびプレプリント(選考終了後に破棄するのでコピーでよい)
- (7) 教育についての考え方を述べた書類
- (8) 業績について照会できる方3名の氏名と連絡先・照会先が海外在住の場合は推薦書を依頼して下さい。(推薦書は照会先から電子メール, ファックス等で別送してもらっても結構ですが, 締切に間に合うようにしてください。)
8. 2015年9月4日(必着)
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院多元数理科学研究科
助教選考委員会委員長 木村芳文宛
(2) 助教選考委員会委員長 木村芳文
(ap-search-2015-b(at)math.nagoya-u.ac.jp)
10. ・本ポストは多元数理科学研究科と名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構の協力の下で運営されるポストです。当該助教は同機構の基礎理論研究

センター／弦理論・数理構造部門所属となり、また多元数理科学研究科協力教員として学部および大学院の教育を担当していただきます。

- ・本学テニュアトラック制規定については <http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame/frame110001177.htm> を参照ください。
- ・応募に当たっては封筒に「公募応募書類在中」と朱書きのうえ、簡易書留にて郵送のこと。
- ・項目6以外の応募書類はA4用紙を用い、両面印刷せず片面で用意すること。
- ・応募書類は今回の選考のためにのみ用いられ、応募者のプライバシー保護のため、選考終了後は適切な方法で破棄します。
- ・本公募の詳細は <http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/job/2015/faculty-1.html> を参照ください。

11. 本学では、男女共同参画を積極的に推進しています。女性比率向上のためのポジティブ・アクションについて (<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/declaration/positive/>)

2016 年東アジア中核天文台連合 (East Asian Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合 (EACOA) は、研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関：中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究院、台湾中央研究院天文及天体物理研究所の連合体です。

EACOA は優秀な若手人材を対象として、2012年から EACOA Fellowship を創設しました。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です（さらに2年（最長合計5年まで）延長が可能です）。自立した研究者として、さらに EACOA 各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。身分は EACOA の機関の博士研究員扱いです。任期中に少なくとも二つ以上の EACOA 機関（一機関につき最短でも1年間以上滞在）で研究していただくことが採用の条件です。

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による
- (2) 中国科学院国家天文台（紫金山天文台、上海天文台を含む）、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究院、台湾中央研究院天文及天体物理研究所のいずれか。本人の希望による。

3. 天文学、天体物理学
 4. 各自の研究や開発に専念
 5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
 - (2) 3年（審査を経て、さらに2年（最長合計5年まで）延長可能）
 6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者、国籍は問わない、英語での意思疎通が可能な方
 7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究計画、(4) 受入れ研究者の確認書、(5) 論文リスト
 8. 2015年11月15日
 9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>
 - (2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室 naoj.global@gmail.com
 10. 中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究院、台湾中央研究院天文及天体物理研究所のいずれかに EACOA Fellow の受入れ研究者が必要です。応募者は、応募する前に受入れ研究者を決めて、連絡を取ってください。
- 書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。
- 以下の web ページを熟読のうえ、応募してください。
- <http://www.eacoa.net/program2016.php>

11. 月額 US\$5,000 の給与、年間約 US\$20,000 の研究費、旅費、引越費用等が支払われます。審査にあたって追加書類の提出を求めることがあります。提出書類はお返ししません。採用審査は EACOA 審査委員会が行います。結果は2016年2月末までに直接応募者に通知されません。

平成 28 年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていただく制度です。平成26年度は3名、平成27年度は1名を採用しています。

1. 年俸制特任助教 若干名
2. (1) 受入責任者の所属するプロジェクト、センター、研究部
- (2) 国立天文台の三鷹、水沢、野辺山、岡山、ハワイ、チリのいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に義務的任用はなく、研究や開発に専念していただきます。

5. (1) 平成28年4月1日以降、ただし平成28年9月30日までに着任していただきます。
(2) 原則として着任日より5年間ですが、年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。任期満了後の更新はありません。
6. 博士の学位を取得した者または平成28年3月31日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト(査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編のPDFファイル, (5) 研究計画書(受け入れ責任者を明記のこ), (6) 応募者に対する評価書1通。
8. 平成27年9月30日(水)正午(日本標準時)(応募フォームでの応募書類と評価書の投稿)
9. (1) 次のURLの応募フォームにアクセスし, 必要事項の入力と必要書類のアップロードを行うこと。 <https://application.nao.ac.jp/2016/> 評価書は, 応募フォームにある説明に従い, 評価者がアップロードすること。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台研究連携主幹
郷田直輝
Tel: 0422-34-3616
e-mail: appl-fellow2016@nao.ac.jp
10. 応募投稿が受理されると, 自動的に確認メールが送られますが, それが届かない場合は appl-fellow2016@nao.ac.jp へ問い合わせること。
11. 採用審査: 書類および面接により候補者を選考し, 本年12月(予定)に開催される運営会議の議を経て年俸制特任助教として採用を決定します。身分・待遇: 裁量労働制の常勤職員として月額55万円の給与及び通勤手当, 年間100万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒロ市)に着任する場合, またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンチャゴ市)に着任する場合には, 在勤手当を支給します(ハワイ約25万円, チリ約30万円等)。健康保険, 年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス, 退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

京都大学大学院理学研究科附属天文台教員

1. 准教授1名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科附属天文台
(2) 岐阜県高山市または京都市山科区
3. 天文学・宇宙物理学
4. 太陽の観測を中心とした, 天文学・宇宙物理学の観測的教育研究。
京都大学大学院理学研究科附属天文台では, 太陽物理学, 太陽宇宙プラズマ物理学, 恒星物理学, 太陽研究をベースにした宇宙天気予報の基礎研究, さらには3.8m新技術光赤外線望遠鏡プロジェクトを推進しています。飛騨天文台で現在活躍中の太陽磁場活動望遠鏡(SMART)やドームレス太陽望遠鏡, わが国の太陽観測衛星「ひので」などを用いて, 太陽磁場活動の観測的研究を積極的に推進するとともに, 附属天文台の研究・教育・運営において指導的役割を果たし, 次期太陽観測衛星計画や3.8m新技術光赤外線望遠鏡プロジェクトにも協力していただける方を求めています。
5. (1) 決定後, なるべく早い時期
(2) なし
6. 博士の学位を有する方
7. (1) 略歴書, (2) 研究成果説明書(これまでの研究成果の概要を説明したものに, 研究論文リストと主要論文別刷3部を添付すること), (3) 研究計画書, (4) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 平成27年9月30日(水)必着
9. (1), (2) 〒607-8471京都市山科区北花山大峰町
京都大学大学院理学研究科附属天文台
柴田一成
Tel: 075-581-1235 Fax: 075-593-9617
e-mail: shibata@kwasan.kyoto-u.ac.jp
附属天文台 <http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp>
10. 封筒の表に「応募書類在中」と朱書し, 簡易書留でお送りください。
11. 書類選考の後, 場合によって面接を行うことがあります。
京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。

国立天文台研究教育職員（女性助教）

1. 研究教育職員助教1名（年俸制）
2. (1) 選考後に決定
(2) 選考後に決定
3. 天文学
4. 自然科学研究機構国立天文台は日本の天文学のナショナルセンターとして、現在15のプロジェクト等を推進し世界最先端の大型観測研究施設を共同利用に供するとともに、天文学およびその関連分野の研究・開発を行っています。ついては、理論・観測あるいは機器開発など分野を問わず、国立天文台を舞台に自ら研究・開発・あるいは各種業務をリードしていく気概にあふれた若手の公募を行います。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります）
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上の女性
7. (1) 履歴書、(2) 論文リスト、(3) 研究業績、(4) 研究計画書（国立天文台で希望する所属先と、そこでどのような研究・開発・業務を行いたいかを具体的に記述してください）、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、(6) e-mailアドレス
8. 応募は日本時間2015年8月17日（月）から9月30日（水）正午までの間に行ってください。
9. (1) 応募書類は下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行ってください。 <https://application.nao.ac.jp/jj2015/>
(2) 国立天文台副台長（総務担当） 渡部潤一
e-mail: apply-jj2015_AT_nao.ac.jp（_AT_を@で置き換えてください）
10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合は apply-jj2015_AT_nao.ac.jp へお問い合わせください（_AT_を@で置き換えてください）。
面接を行う場合があります。その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。
11. 給与待遇は年俸制になります（年額の12分の1を月額支給）。
選考は国立天文台運営会議で行います。
自然科学研究機構国立天文台は男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しく

は <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。

研究会・集案案内

第11回最新の天文学の普及をめざすワークショップ

テーマ：アストロバイオロジー

〈参加者募集〉

国立天文台天文情報センターは、現在行われている天文学研究最前線の様子を広く社会に伝えるため天文学普及のためのワークショップを開催いたします。

日 時：2015年11月15日（日）13:00～17日（火）16:45

場 所：国立天文台 および 海洋研究開発機構 横須賀本部

対 象：プラネタリウム・公開天文台・科学館職員・学校等の職員で天文学の普及にかかわっている方および科学コミュニケーターや科学教育普及に興味をもつ学生。

募集予定定員：約70名

費 用：無料。ただし、食費、懇親会費等の実費を納めていただきます。

宿 泊：各自で確保精算をお願いします。（参考：ホテルメッツ武蔵境、シティテル武蔵境、ホテルノービス調布、調布クレストンホテル）

移動手段：最終日は国立天文台（三鷹）から海洋研究開発機構（横須賀）まで借上バスで移動します。（最大乗車人数60名）乗車希望者は応募の際にお申込みください。（先着順受付）

応募方法：希望者は氏名、連絡先、e-mailアドレス、所属、バス乗車希望の有無を明記して、レポート「アストロバイオロジーに期待するもの」（A4,1ページ程度）を添付して10月3日までに下記宛先へお送りください。参加者選考結果は10月16日までに本人あて通知します。

応募締切：2015年10月3日（金）

応募先：郵送またはメール

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台天文情報センター「最新の天文学の普及をめざすワークショップ」係

e-mail: WS_pcea@prcml.mtk.nao.ac.jp

- 主 催: 自然科学研究機構 国立天文台, 自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター
共 催: 天文教育普及研究会, 日本プラネタリアム協議会, 日本公開天文台協会 (予定)
後 援: 日本天文学会

ワークショップの目標

- (1) アストロバイオロジーの成果をプラネタリアム, 公開天文台, 科学館あるいは学校などの教育現場で活用してもらうため
- (2) アストロバイオロジーを理解するためのフレームワーク作りのため
- (3) 研究者並びに関係者とのコラボレーションのため

主な内容 (予定)

* 講義: [会場: 国立天文台および海洋研究開発機構 横須賀本部]

○地球および火星環境の進化とハビタビリティ
○「第2の地球! ? 外側太陽系探査の最前線 ○太陽系外のハビタブル惑星探査 ○生命の初期進化そしてたんばぼ計画/火星生命探査計画 ○極限環境下での生命 ○太陽系に生命起源の鍵を探す ○宇宙からもたらされる生命素材物質 ○地球生命史とアストロバイオロジー ○宇宙における生命誕生・存続は普遍か奇跡か? 誰が決着をつけるのか?

* 見学: 11月17日 (火) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 横須賀本部

問い合わせ先: 〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1

自然科学研究機構国立天文台

天文情報センター

根本しおみ・波田野聡美

Tel: 0422-34-3900 (内線3148)

Fax: 0422-34-3810

e-mail: WS_pcea@prcml.mtk.nao.ac.jp

京都大学花山天文台一般公開のお知らせ

京都大学花山天文台では, 来たる10月17日に一般公開を行います。花山・飛驒天文台で現在行われている最先端の天文学研究を, わかりやすく説明しますので, お気軽にお申込みください。

(入場無料, 45 cm 屈折望遠鏡による観望のみ有料)

〈日 時〉2015年10月17日 (土) 13時~20時

〈内 容〉望遠鏡による天体観望 (昼: 太陽, 夜: 月など)。講演会。

飛驒天文台で観測中の太陽画像の紹介。

4次元デジタル宇宙シアター (国立天文台開発のミタカに, 京大発のコンテンツを追加し, 3D宇宙へライブ解説でご案内)。

太陽黒点スケッチや工作などの各種体験コーナー。
〈交通機関〉京都市営地下鉄東西線蹴上駅 (1番出口) よりシャトルバスを運行します。

自家用車でもお越しいただけますが, 駐車場の数に限りがありますので, なるべくシャトルバスをご利用ください。

〈申込方法〉インターネットでの事前申込が必要です。

花山天文台のホームページ

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

申込受付期間: 9月3日 (木)~9月24日 (木) [定員に達し次第締切]

定員: 先着300名

45 cm 屈折望遠鏡による観望は抽選100名 (対象年齢: 小学生以上)

抽選結果は9月末に返信します。

〈問 合 せ〉Tel: 075-581-1235

e-mail: kengaku-kwasan@kwasan.kyoto-u.ac.jp

e-mailの場合, 件名を「10/17一般公開」としてください。

〈主 催〉京都大学大学院理学研究科附属天文台, 認定NPO法人花山星空ネットワーク

〈共 催〉京都市教育委員会

〈後 援〉京都府教育委員会

一般相対性理論誕生100年記念市民講演会

名 称: 一般相対性理論誕生100年記念市民講演会

主 催: 一般相対性理論誕生100年記念市民講演会委員会

後 援: 日本物理学会, 日本天文学会

内 容: 2015年11月25日, 重力の法則と時空の構造を記述するアインシュタインの一般相対性理論は誕生100年を迎えます。それを記念して, 一般相対性理論がもつ意味と関連する研究の最先端に触れていただく市民講演会を全国15カ所で開催します。世界の第一線で活躍する研究者たちが, 一般相対性理論のこれまでの歴史と今後の展開について平易な言葉で語りかけます。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

日 時: 2015年10月~2016年3月 (各会場の開催日時はホームページ参照)

場 所: 弘前, 仙台, 新潟, 神岡, 長岡, つくば, 東京, 名古屋, 京都, 大阪, 広島各都市。詳

細はホームページ参照。

入場料：無料

対 象：高校生程度以上

問合せ：東京大学大学院理学系研究科 安東正樹

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Tel: 03-5841-4141

URL: <http://www.gw.hep.osaka-cu.ac.jp/>

Gmunu100

そ の 他

第14回坂田・早川記念レクチャー講演者推薦のお願い

講演者選考委員会委員長 福井 康雄

名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻は同大学物理学教室創設以来、素粒子物理学と宇宙物理学の両分野において世界の研究の発展に寄与し、ノーベル賞受賞者をはじめ社会の各方面で活躍する多くの人材の養成に貢献してきました。

素粒子物理学の分野では、故 坂田昌一教授の「二中間子論」提唱、クォーク模型の原型となった「坂田模型」とその延長線上でのニュートリノ混合の提唱などにより、現在の素粒子論の世界的流れを創出したと言えます。一方、宇宙物理学の分野では、故 早川幸男教授のエックス線や赤外線などを用いた多波長観測天文学の開拓によって観測的宇宙論や星間物質研究の地平が大きく拓かれました。

坂田・早川記念レクチャー制度は、両教授の業績を讃えるとともに、未来の発展につながる次世代を担う研究者の育成を目的として設けられました。記念講演者には、若者が物理の面白さを幅広い観点から理解し、その道に自らも挑戦したいという大志を抱く契機となるようなご講演をお願いしています。これまでに、13名の方を講演者として選考し記念メダルを授与するとともに、高校生・一般市民に向けて、記念講演を行っていただきました。

本年度も、名古屋大学大学院理学研究科・名古屋科学館共催で、第13回の記念レクチャーを開催します。従来通り公募による講演者の選考を行います。今回は宇宙物理学観測分野において、坂田・早川記念レクチャーにふさわしい講演者の推薦をお願い申し上げます（文末のこれまでの講演者のリストを参照ください）。ご推薦にあたっては、候補者のお名前にごく簡単な推薦理由を添付していただければ幸いです。

推薦受付締切：2015年9月14日（月）必着

推薦書送付先：郵送、または、電子メールで受け付けます。

郵 送：〒464-8602名古屋千種区不老町

名古屋大学大学院・理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻

「坂田・早川記念レクチャー」選考委員会

福井康雄 宛

e-mail: fukui@a.phys.nagoya-u.ac.jp

これまでの講演者の方々

- 第1回（2002年度） 益川敏英氏（素粒子）
- 第2回（2003年度） 田中靖郎氏（宇宙）
- 第3回（2004年度） 戸塚洋二氏（素粒子）
- 第4回（2005年度） 杉本大一郎氏（宇宙）
- 第5回（2006年度） 西島和彦氏（素粒子）
- 第6回（2007年度） 西村純氏（宇宙）
- 第7回（2008年度） 丹生潔氏（素粒子）
- 第8回（2009年度） 佐藤勝彦氏（宇宙）
- 第9回（2010年度） 小林誠氏（素粒子）
- 第10回（2011年度） 古在由秀氏（宇宙）
- 第11回（2012年度） 生出勝宣氏（素粒子）
- 第12回（2013年度） 佐藤文隆氏（宇宙）
- 第13回（2014年度） 矢崎紘一氏（素粒子）

会 務 案 内

2015年度 日本天文学会 林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2015年11月10日（火）（必着）です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください（論文賞についてはe-mailも可）。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。

林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告

論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2015年度(第20回)林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象: 広い意味での天文学(天体物理学, 宇宙物理学, 他の関連テーマも含む)における独創的にかつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格: 本年度当初において既に本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数: 原則として各年に1件。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式: 表題は「2015年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に, 次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者, 連名授賞可)について: 氏名(ふりがな), 生年月日, 大学卒業年, 現職および連絡先(電話, Fax, e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として, 推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

2015年度(第20回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は, 良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は, 林忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文: 原則として過去5年以内にPublications of the Astronomical Society of Japanに出版された論文のうち, 独創的で天文学分野に寄与の大きい, 特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての共著者)に授与する。

授賞件数等: 原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2015年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に, 次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 筆頭著者名, 出版された巻, ページ, 発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職・連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjimuj@asj.or.jp宛に送信して, 受領メールを必ず確認してください。

2015年度研究奨励賞(第27回)候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は, 優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して, 日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で, 最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日にすでに正会員であってかつ35歳以下の者

です。毎年3名以内を選考し, 賞状, 賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から, 研究奨励賞内規に基づき選考を行い, 候補者を代議員総会に推薦します。

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切: 2015年11月9日(月) 必着
- (2) 提出書類: ○候補者氏名, 会員番号, 現職, 生年月日, ○授賞対象とする研究の表題(英語表記も), ○推薦者の氏名, 現職, 連絡先, ○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2~3枚程度の本文), ○関連論文リスト, ○推薦に関連して最

も重要な論文のコピー（3編以内）

- (3) 提出先: できるだけ、e-mailで応募してください。e-mailの場合は宛にsubject「2015研究奨励賞応募 氏名」としてjimuj@asj.or.jpまでお送りください。また、提出書類は一つのPDFにまとめ、ファイル名を「2015kenkyushorei full name」としてください。

郵便で提出する場合は

〒181-8588東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

へ送付してください。

2015年度（第15回）天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績名（1行程度）、功績の説明を書いたいただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimuj@asj.or.jp）にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、**2015年12月25日**までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくようお願いいたします。

2015-2016年度日本天文学会会長、副会長の決定のお知らせ

5月31日開催の代議員総会において、2014年度事業報告と2014年度会計報告が承認され2014年事業年

度が終結し、2014年度理事会が解散されました。これに引き続いて、同代議員総会で承認された理事により新理事会が発足しました。このたび、会長・副会長・理事・監事選考細則第14条に基づき、新理事会で5月31日付で新会長、副会長を下記のとおり選任いたしましたので報告いたします。

会長 市川隆

（東北大学大学院理学研究科・教授）

副会長 半田利弘

（鹿児島大学学術研究院理工学域理学系・教授）

副会長 望月優子

（理化学研究所仁科加速器研究センター望月雪氷宇宙科学研究ユニット・研究ユニットリーダー／埼玉大学大学院理工学研究科・連携教授）

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2016年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。

表紙は、題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。

（天文月報のホームページのバックナンバー（<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>）に表紙画像があります。）

応募される方は、天文月報投稿用アップローダーまで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ（182ミリ×257ミリ）です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。

また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締切り：2015年9月末日

送り先：天文月報編集委員会

次のページの天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は

youtsumi@hiroshima-u.ac.jpまで、

またその他のご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成27年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2015年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)